



地域支えあいニュース

第18号 平成30年3月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム
(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812
E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

ささえあい井戸端会議 小園 発足！！

平成30年3月14日(水)小園自治会館にて、ささえあい井戸端会議 小園が発足しました。

小園地区は、市内6番目の発足となりますが、発足式当日は、28人の方々が集まりました。急遽でしたが、ひとつのグループでは人数が多く、話し合いがしづらいということで、2つのグループを作ることになりました。

冒頭「なぜ井戸端会議が必要なのか？」という質問があり、制度の説明や既に発足している市内の井戸端会議の状況などをお話しさせていただいた後に2つのグループ



恒例の拍手で設立を確認しました

の別れて話しを行い、最後に双方のグループで話した内容を発表し、共有しました。



今回お集まりいただいたみなさんの意識は高く、初回から活発な意見が出ますが、まだまだ「何を

の活動とどう違うの？」という疑問は拭えないものの、まずは情報を集め、みんなで共有していこうということで進み出すこととなりました。



ささえあい井戸端会議 小園は、毎月第3水曜日の午後7時から小園自治会館で定例会を開催しますので、ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

ささえあい井戸端会議 小園での意見

- 民生委員として、この井戸端会議は地域の情報を収集できる貴重な場であると思っている。
- 高齢者の困りごとアンケートをやってみたらどうか。
- 高齢者のみならず子供の見守り活動も行っていきたい。
- 個人情報、守秘義務を守りつつ、必要な情報開示を行っていく必要がある。
- 防犯パトロールの現状について
- 毎朝公園でラジオ体操を行っているグループがあり、人数も増えてきている。
- 自治会、地区社協、民生委員が連携を強化していく必要がある。
- 地域の協力者を増やしていくためには今後どのようなことをしていけば良いか。
- 引きこもった高齢者を引き出すためにはどうしたらよいか。
- 両隣りの人を見守る活動を行ってきたい。